

石庭に佇つ

Steingartenstille

句集
石庭に佇つ

平成二年四月一日 印刷
平成二年四月十五日 発行

定価 三、五〇〇円

本体(三、三九九円)

著者 ギンター・クリンゲ

訳者 加藤慶二

発行者 永田龍太郎

発行所 株式会社 永田書房

〒一五二

東京都目黒区鷹番三―七―一三
電話 (七二二) 二七七〇

振替 (東京) 四九七六〇八

印刷 株式会社 清水印刷所

製本 河上製本 株式会社

製函 斎藤商会

GÜNTHER KLINGE
Haiku-Sammlung
STEINGARTENSTILLE

GÜNTHER KLINGE
HAIKU VERLAG-MÜNCHEN

序

西ドイツの俳人として高名なギュンター・クリンゲさんの句集『石庭に佇つ』がこの程日本の永田書房より出版される。四年前に出版され日本の俳人を驚嘆させた『イカルスの夢』が第五句集であつたから、本書はクリンゲさんの第六句集という事になる。日本語訳は前回と同じく筑波大学教授の加藤慶二氏に依るもので、この句集に精彩を与えている。

昨春秋、富士山麓の山中湖に於て日本伝統俳句協会主催の国際俳句シンポジウムが開催されるにあたり、ギュンター・クリンゲさんは遙々西ドイツ・ミュンヘンよりシンポジストとして参加して下さり、大会に花を添えて下さつたのであるが、実作者としてのクリンゲ氏の講演は力強く、今後の国際俳句のために大きな成果を上げる事が出来た。その時の事であるがこの度の第六句集についてクリンゲさんと意見を交換し、花鳥諷詠、客観写生について語つたことを思い出す。クリンゲ氏は次のような質問をされた。「俳句が自然を詠む、その為に季題を俳句に入れることはよく知っているが、自然ばかりではなく思想とか心情も詩にしたいのです。それは俳句で許されるか？」「勿論です。思想も心情も俳句

になります。ただそれを俳句では季題に托すのです。」と私は答えたのであった。この句集を拝見するとしみじみとその会話が思い出されてくる。クリンゲさんはドイツの俳人としてドイツの季題を詠み、今後ドイツの芭蕉のような道を歩いて行かれるような気がする。

新年から始まって移り行くドイツの季節がやがて年末を迎えるという句の配列は澁みなく季節の中で自らもその影響を受けながら、自然に感動し、考える一人の人間像が読者の胸の中に感動を誘ってくれる。一気に読み終えて、私の心の中にクリンゲ氏の面影がくつきりと浮かんできた。「俳句はその人柄が表れる」という虚子の言葉をこの句集は見事に実証している。日本の俳句を真の意味で理解する外国の詩人は少なくとも私の知る限りクリンゲさん以外にはないように思われる。心より御出版を喜び、一人でも多くの方々に読んで頂きたいと願っている。

一九九〇年二月吉日

稲畑汀子

目次

序		稲畑汀子	1
---	-------	------	---

石庭に佇つ			9
-------	-------	--	---

跋		加藤慶二	254
---	-------	------	-----

あとがき			266
------	-------	--	-----

あとがき	(独語文)		268
------	-------	-------	-----

跋	(独語文)		272
---	-------	-------	-----

序	(独語文)		275
---	-------	-------	-----

目次	(独語)		
----	------	--	--

句集

石庭に佇つ

本文絵画
ギョウター・クリンゲ
装幀
李友唯

Wenn sich im Alter

Wege konsequent trennen.

Erinnerung bleibt.

遠
い
日
よ

年
新
た
な
り

老
い
新
た

Der Sonne mildes

Licht auf frischgefall'nem Schnee.

Ich lese Goethe.

ゲ
ー
テ
読
む

そ
そ
ぐ
太
陽

新
雪
に

Rückschau in Jahre -
Gedichte aus sechs Jahren.
Und wieder fällt Schnee.

雪
が
降
る

詩
作
六
年

生
き
が
ひ
の

*Immer wieder Schnee:
es gibt die große Stille,
Stunde des Schöpfens.*

いのち
轟め
きて

降る
雪

いく
たび
も

In Stille bleiben,

wenn ein Herz verkümmert ist.

Der Schnee deckt es zu.

つ
つ
み
く
れ

降
る
雪
が

や
つ
れ
た
る
身
を

*Sich wiederfinden
nach Jahren böser Trennung.
Noch einmal fällt Schnee.*

雪
が
降
る

ふ
た
た
び
会
へ
ば

別
れ
ゐ
て

*Schneeflocken fallen -
und sie berühren sich nicht.
Nur daraus lernen.*

雪片の
触れ合ふことも
なく舞へり